

「福島」から、イメージが駆けめぐる。

Image.
Fukushima
IN 福島 | フォーラム福島
2012. 4.14 SAT — 15 SUN

[上映作品]

私たちの現実

フクシマ2011 ～被曝に晒された人々の記録

原子力爆弾魔

太陽を盗んだ男

世界からのメッセージ

3.11 A Sense of Home Films

女子高生の想い

今伝えたいこと(仮) [相馬高校放送局ライブ公演]

故郷・福島へ走る

トラック野郎 一番星北へ帰る

イメージ・福島 Vol. 5

[トークゲスト]

若松丈太郎

斎藤環

相馬高校演劇部

ナシモン [MC]

山野邊元美

鈴木英子

©3.11 A Sense of Home Films

Image.
Fukushima
IN 福島 | フォーラム福島
2012. 4.14 SAT — 15 SUN
Vol. 5

賛助会員募集のご案内

Image.Fukushimaはボランティア・スタッフによるプロジェクトです。福島の問題をともに考えるための場を作り、有意義な映像作品を上映し、ヴァリエティ豊かなトークゲストを招待するために、皆様からひろく賛助金を募っています。

詳しくは公式HPにて

<http://www.image-fukushima.com>

[関連情報]

Image.Fukushima sideB 夜の宴

出演者・DJ MARCY、DJ SEEYAほか

4月14日 [土] 20:00 OPEN | 21:00 START

なまず亭

〒960-8031 福島県福島市栄町11-10-3F

<http://catfish-market-j.blogspot.jp>

料金：一律 500円 (ドリンク別)

問い合わせ先

info@image-fukushima.com

DJ MARCY

地元福島を拠点としながら、都内をはじめ県内外のゲスト出演も数多くこなす。また、自身のレコードショップ“LITTLE BIRD”は海外からの信頼も熱い。

DJ SEEYA

昨年12月に10周年を迎えた福島市のレアグルーヴParty“FEEL”を主催。その他のイベントオーガナイズや県内外でのゲストアクトなどで幅広く活動中。

上映スケジュール

4月14日 [土]

13:00—14:30 『フクシマ2011～被曝に晒された人々の記録』

14:30—15:20 — ゲストトーク: 若松丈太郎 (聞き手・渡部義弘)

15:40—18:10 『太陽を盗んだ男』

18:10—19:00 — ゲストトーク: 斎藤環

4月15日 [日]

13:00—14:15 『3.11 A Sense of Home Films』

14:15—15:30 — ライブ公演: 相馬高校放送局『今伝えたいこと(仮)』& トークwith ナシモン [MC]

15:50—17:40 『トラック野郎 一番星北へ帰る』

17:40—18:30 — ゲストトーク: 山野邊元美、鈴木英子

会場 フォーラム福島 [FORUM 5]

〒960-8051 福島市曾根田町6-4 Tel. 024-533-1717
<http://www.forum-movie.net/fukushima/>

料金

— 当日料金: 1,200円 [トーク付]

— 前売り鑑賞券: 1,000円 [トーク付]

★前売り鑑賞券はフォーラム福島窓口で販売しています

お問い合わせ フォーラム福島 | Tel. 024-533-1717

E-mail: info@image-fukushima.com

[Image.Fukushima実行委員会]

三浦哲哉 (会長) / 伊藤隆 (副会長・福島事務局長) / 渡辺祐一 (東京事務局長) / 中村聖子 (金沢事務局長) / 吉川正文 / 鈴木麻美 / 長沢義文 / 石川多摩川 / 佐藤久美 / 丹治宏大 / 小菅佳津子 / 吉野裕之 / 開沼博 / 藤井豊 / 萩野亮 / 成瀬慧 / 寺岡ユウジ / 渡部義弘 / 人見やよい / 森宗厚子 / 半田将仁 / 島晃一 / 阿部夏澄 / すぎたカズト / 山野邊元美 / 梅山景央 / 平嶋洋一 / 土肥悦子 / 早川啓子 / 舞木千尋

[事務局]

福島事務局 〒960-8074 福島市西中央3-30-1 ラポール西中央101

東京事務局 〒160-0022 新宿区新宿5-4-1 新宿Qフラットビル306 (東風内)

金沢事務局 〒920-0961 金沢市香林坊2-1-1 KOHRINBO 109 4F (シネモンド内)

E-mail: info@image-fukushima.com

Twitter: [@imagefukushima](https://twitter.com/imagefukushima)

公式サイト: <http://www.image-fukushima.com>

design: 成瀬慧 WEBdesign: 八登直紀 + 高田倫行 (travision Inc.)

「福島」から、イメージが駆けめぐる。

ハンドル片手に西東。恋と情にはめっぽう弱い。われらが菅原文太主演の娯楽映画シリーズ決定版。
トラック運転手・星桃次郎がダムに沈んだ故郷・福島の村をのぞむ屈指の名篇『トラック野郎 一番星北へ帰る』。
「武道館にローリング・ストーンズを呼べ！」中学の化学教師・沢田研二＝ジュリーが原発からプルトニウムを奪取し、
日本のノド元に突きつける。原子力という戦後日本の矛盾を映画の娯乐的想像力でスパークさせた『太陽を盗んだ男』。
震災後の福島県内の生活取材した『フクシマ2011～被曝に晒された人々の記録』。
映画作家・河瀬直美の呼びかけに世界の巨匠たちが被災地・日本へ届けた、
「Home(家・故郷)」を題材にした短篇オムニバス『3.11 A Sense of Home Films』。
相馬高校放送局のライブ公演『今伝えたいこと(仮)』。
さらにトークショーでは、原発立地地域の現実を見つめ続けてきた南相馬の詩人・若松丈太郎、精神科医・斎藤環らが来場。
皆さんと共に福島について語り、考えます。

©3.11 A Sense of Home Films

主催 | Image.Fukushima実行委員会
協力 | 東映 / 東宝 / コー・シネマ / なら国際映画祭

Image.
Fukushima
IN 福島 | フォーラム福島
2012. 4.14^土—15^日

【Image.Fukushima】とは……放射能汚染の“見えない”脅威、不透明な未来。
そこから一歩を踏み出すために、知見とイメージを交換し合う場をつくることを目的とした映画上映&トーク・プロジェクトです。
[image] = ① 名詞。イメージ、映像。② 動詞。想像する。心に思い描く。上映する。



©タキシース 2012

フクシマ2011 ～被曝に晒された人々の記録

監督:稲塚秀孝 | 日本 | BD | 85分
南相馬市と飯館村を中心に、震災と原発事故後の逆境に立ち向かう人々の姿を捉えたドキュメンタリー。南相馬市の詩人・若松丈太郎も出演している。ナレーターに仲代達矢。加藤登紀子が若松の詩を朗々と歌いあげる。

太陽を盗んだ男

監督:長谷川和彦 | 1979年 | 日本 | 35mm | 147分
原発からプルトニウムを強奪し、ひとりで原子爆弾製造に成功した化学の中学教師(沢田研二)。テロリストに自身同様の闇を動物的に直感した警部(菅原文太)。おとこが逃げ、おとこが追う。空虚な戦後日本社会を舞台に、魂をけずるふたりの闘争を活写し伝説化したカルトムービー。監督の長谷川和彦は広島出身、1945年8月6日の原爆による胎内被曝者でもある。



©1979 東宝 / フィルムリンク・インターナショナル

3.11 A Sense of Home Films

©3.11 A Sense of Home Films

3.11 A Sense of Home Films

オムニバス作品 | 2012年 | BD | 75分
震災後、『萌の朱雀』(97)『殯の森』(07)ほかで国際的評価も高い河瀬直美監督の呼びかけに応じ、世界の巨匠・名匠・鬼才たちがよせた各話3分11秒の短篇オムニバス。テーマは「Home(家・故郷)」。ピクトル・エリセ、ジャ・ジャンクー、ポン・ジュノら錚々たる映画人が描くそれぞれの「Home」のかたち。そして日本へのメッセージ。

今伝えたいこと(仮)

相馬高校放送局 | 2012年 | 創作演劇公演 | 35分
放課後、いつものように雑談に興じる仲良し女子高生三人組み。そのうちのひとりが、その夜自殺した。明るく振る舞っていたはずなのになぜ? 次第にあぶり出される心の闇。わだかまる想いはやがて叫びに変わっていく。「私たちのこと、ただお気楽に生きているガキだと思ってるんでしょ?!!」。



©東映

トラック野郎 一番星北へ帰る

監督:鈴木則文 | 1978年 | 日本 | 35mm | 109分
「久しぶり!故郷めざして一番星みちのく爆走」。笑って泣いて。東映娯楽映画の金字塔、ますます快調!のシリーズ第八作。トラック運転手・星桃次郎(菅原文太)は惚れた未亡人との道中で福島に立ち寄ることに。そしてダム湖の下に沈んだ故郷をのぞみ、在りし日の生家に想いを馳せる……。ヒロインに大谷直子。監督は『パンツの穴』(84)等の“天才”鈴木則文。

トークゲスト

若松丈太郎 | わかまつ・じょうたろう

1935年岩手県生まれ。南相馬市在住。福島で高校教師。詩集に『夜の森』(1961年、福島県文学賞)、『海のほうへ 海のほうから』(花神社、1988年福田正夫賞)、『いくつもの川があって』(花神社、2000年福島民報出版文化賞)、『北緯37度 25分の風とカナリア』(2010年、弦書房)など。

斎藤 環 | さいとう・たまき

1961年岩手県生まれ。精神科医。爽風会佐々木病院診療部長。漫画、映画等のサブカルチャー批評でも健筆を振る。震災後は被災地を訪れ、雑誌「Imago 東日本大震災と〈こころ〉のゆくえ」の編集にあたった。

ナシモン | なしもん

1976年生まれ、神奈川県出身、郡山市在住。いわきを拠点に活動するメタルバンドNAMAZのヴォーカル。年に1度、福島のミュージシャンを集め音楽サミット「FLY AWAY」を企画。福島県内のTV番組MCやラジオパーソナリティー(「ナシモンガトオル」など)としても活躍中。

山野遼元美 | やまのべ・もとみ

福島県いわき市出身。1993年渡米。ジャネット・ジャクソン等の衣装を手掛けたコスチューム&ファッションデザイナーとしてNYにて活躍。2001年9月11日の同時多発テロで被災。NY滞在18日目以後は様々な逆境をバネに“激励屋”としても活動。

鈴木英子 | すずき・えいこ

元、雑誌「コロンブス」の福島県版コーディネーター。いわき市平薄磯海岸にて海の家などを経営。津波で命以外の全てを失うが、小学生5人を救出し、大津波から生還する。

【敬称略・順不同】

トークゲストはやむをえず変更になる場合がございます。最新情報は公式HPなどでご確認ください。